

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ランドスケープ(Landscape)	授業コード	C167351
担当教員名	菅 雅幸		
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	建築コース 選択 インテリアデザインコース 選択 環境・地域創生コース 選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	特にありません。		
受講心得	教科書、視聴覚資料の内容を中心に講義を行いますので、必ず出席するように心掛けてください。		
教科書	特にありません。		
参考文献及び指定図書	テキスト ランドスケープデザインの歴史 武田史朗、他2名 著編、学芸出版社 風景のとりえ方・つくり方 九州実習編 小林一郎 監修 風景デザイン研究会 著 共立出版 ランドスケープのしごと 日本造園学会 監修 ランドスケープのしごと刊行委員会 編 彰国社		
関連科目	都市計画		

授業の目的	ランドスケープづくりやその管理に、どのような人々が、どのような考えで、そしてどのような技術を持って関与しているのかについて紹介することを大きな目的としています。
授業の概要	風景のとりえ方・つくり方を基にして、景観紅白に関する用語の紹介と風景の読み解き方を説明します。次にランドスケープのしごとを基に、造園の立場から、土地の自然や人々の営みが生み出した土地固有の風景というとりえ方について学んでもらいます。法制度とそのしくみには二面性があること、開発法制度と計画に基づく開発の手続きと範囲、および自然環境の保全法制度に基づき起訴できる内容とどの範囲がどのようになっているかを学んでもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：風景のとりえ方Ⅰ 人と活動 その1 風景を眺める人間に焦点をあてて、様々な知見のまとめを解説します。	配付資料 演習課題
第2週：風景のとりえ方Ⅱ 人と活動 その2 風景のイメージや、模範となる風景、住民参加の風景づくりなどについて、事例を挙げて解説します。	配付資料 演習課題
第3週：風景のとりえ方Ⅲ 人と空間 その1 人々を取り巻く空間の側から風景について解説します。	配付資料 演習課題
第4週：風景のとりえ方Ⅳ 人と空間 その2 近代都市計画の例から、機能の読み解きや都市計画の導入などについて解説します。	配付資料 演習課題
第5週：ガーデニングデザイン〔戸建住宅の外構設計〕 パークプレイスにて見学会を行います。	配付資料 演習課題
第6週：ガーデニングデザイン 見学会を基にして教室にて作品を創作、提出してもらいます。	配付資料 演習課題
第7週：大分市内の公園Ⅰ 大分市内の公園を見てまわり、用途、で在位の相違を学んでもらいます。	配付資料 演習課題
第8週：大分市内の公園Ⅱ	

大分市内の公園を見てまわり、用途、で在位の相違を学んでもらいます。		配付資料 演習課題
第9週：ランドスケープデザイン史Ⅰ 1850-1939:民主主義と工業化の時代		配付資料 演習課題
第10週：ランドスケープデザイン史Ⅱ 1940-1979:都市生活と環境の対峙		配付資料 演習課題
第11週：ランドスケープデザイン史Ⅲ 1980-2009:風景の再構築に向けて		配付資料 演習課題
第12週：世界の広場Ⅰ 南欧の広場 西洋と東洋の思想の影響について紹介します。		配付資料 演習課題
第13週：世界の広場Ⅱ ウォーターフロント 親水空間との関わり方を紹介します。		配付資料 演習課題
第14週：世界の広場Ⅲ 日本の庭園 日本独自に完成された「スマート」施行を紹介します。		配付資料 演習課題
第15週：環境保全 自然環境の保全と利用に関わる法制度と、都市の緑の保全・活用・創出に関わる法制度、農林業の環境に関わる法制度と、水環境の保全・利用に関わる法制度、歴史的風土や文化財保護に関わる法制度と景観緑三法について説明します。		配付資料 演習課題
第16週：期末試験 これまでの講義の内容の試験を行います。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	関連する職業技術について随時解説するので、参考にして欲しい
【技能・表現・コミュニケーション】	いくつかのテーマについて、イメージスケッチを作成、プレゼンを行う
【思考・判断・創造】	この講義はランドスケープ空テクとであるオルムステッドが都市空間に込めた思い、「参加」、「芸術」、「環境」を原点としている。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	5点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	10点	5点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点	5点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	10点	5点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	見学会に参加して、作品を提出する事
発表・その他(無形成果)	必ず出席し、各自作品のプレゼンを行ってもらう。